

ま え が き

グローバルコミュニケーション教育センター（CEGLOC）日本語論集 37 号が刊行されました。論文 2 件、研究ノート 1 件、報告 8 件、CEGLOC FD 委員会年度報告、日本語教育部門 FD 研修会報告が収録されています。

新型コロナ禍の影響はあっても、本学では 2,353 名（令和 3 年 10 月 1 日現在）が学んでいます。オンライン中心の教育も 2 年目となり、長期化することで新たな問題も出てきました。インターネット環境、時差という外的要因を踏まえて、教育方法、学習効果など新しい取組が必要となりました。

インターネットを介した教育については、文部科学省より認定を受けてきた、大学間共同利用拠点「日本語・日本事情遠隔教育拠点」が、令和 2 年 4 月より新たに 5 年間、第 3 期が始まり、教育コンテンツや評価システム開発などオンライン教育の必要性に向き合っています。

より多くの方に筑波大学の取組を知っていただきたく、日本語・日本事情遠隔教育拠点についての動画を公開しています

〈 <http://www.intersc.tsukuba.ac.jp/~kyoten/>〉。

本論集をはじめとする日本語教育に関する日頃の研究成果が、広く学内外の日本語教育関係者の貴重な資料となることを期待しております。

2022 年 3 月

筑波大学
グローバルコミュニケーション教育センター
日本語教育部門長 小野 正樹